



Title	こうべ芸文35周年記念美術展・図録等デザインワーク
Author(s)	小宮, 容一
Citation	デザイン理論. 2011, 56, p. 110-111
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/53476
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

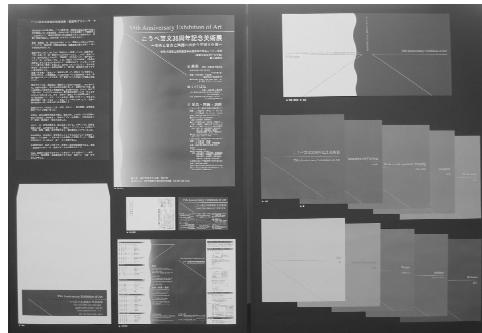
こうべ芸文35周年記念美術展・図録等デザインワーク 小宮容一／芦屋大学

神戸芸術文化会議（通称こうべ芸文）が2008年設立35周年を迎える、例年開催している美術展を、2008年10月に記念美術展として開催することが決定された。事前の春先に図録にデザイン依頼があり、提案と会議を繰り返し、デザインが決定された。表紙・裏表紙・背・扉等を私がデザインし、図録頁の作品写真のレイアウト等は、基本方針（50音順、図版等面積等）に基いて事務局が担当した。

表紙のデザインコンセプトは「神戸らしさの表現」とし、35周年の「35」をとて「 35° 」角のラインをモチーフとした。この水平から 35° 鋭角に戻るラインは、船の先端をイメージし、「みなと神戸」に繋がるとした。裏表紙の「董色」と「白色」の境界曲線は、「波」「風」「山並み」を表現している。

神戸のテーマカラーは「ブルー」「ホワイト」「グリーン」である。今回の「ブルー」は「芸文の歴史」「会員の高年齢構成」からできるだけ落ちていた、格調あるカラーとして、バイオレットよりの「董色」を選んだ。文字と裏表紙の端を「ホワイト」とした。

図録のデザインの後、ポスター、DM、会場目録等に展開した。



・封筒、ポスター、DM、会場
目録

・図録（裏・背・表）中扉



図録

